

第204期 株主通信

2025年4月1日～2026年3月31日

証券コード 5801

特集

古河電工グループ 2030 経営方針

株主の皆様へ



Vision 2030 実現に向け、 成長分野への投資を通じて成長を加速する1年

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社の2025年度決算は、売上高、営業利益、及び経常利益が過去最高となり、親会社に帰属する当期純利益は過去

2番目の水準を達成できました。データセンタ関連需要を背景に情報通信ソリューション事業が売上・利益を大きく伸ばすとともに、他事業においても高付加価値製品の売上拡大や生産性向上、販売価格の適正化が進み、利益改善につながりました。

その結果、自己資本比率、ROE等の財務指標も改善し、2025年度を最終年度とする中期経営計画「Road to Vision 2030-変革と挑戦」における財務目標をすべて達成することができました。

これを踏まえ、2025年度の配当金は従来予想の1株当たり160円から50円増配の、210円といたしました。

そして、前中期経営計画の終了を踏まえ、この5月に「古河電工

グループ ビジョン2030の実現に向けた経営方針」を発表いたしました。ビジョン2030の実現のため特定した6つの経営上の重要課題に今後5年間かけて取り組み、社会課題の解決を通じて更なる事業の成長を目指してまいります。

初年度となる2026年度は、昨年度に引き続きデータセンタ関連製品の需要増が見込まれ、放熱・冷却製品における増産投資効果等も加わり、増収増益を見込んでおります。また、今後の需要増を見込みデータセンタ関連事業中心に更なる増産投資を進める予定です。足もとでは、中東情勢の緊迫化により石油由来の原材料調達や需要等への影響も懸念されますが、状況を注視し、柔軟に対応していく所存です。

株主の皆様におかれましては、今後とも倍旧のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

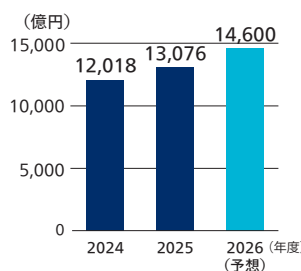
2026年6月

古河電気工業株式会社
代表取締役社長

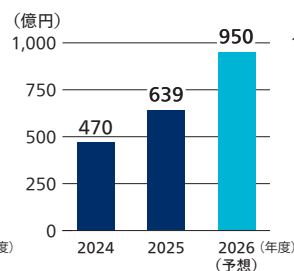
森平 英也

業績ハイライト

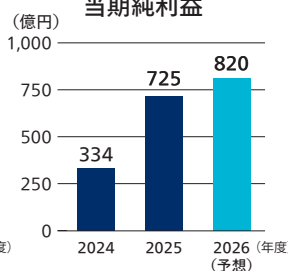
連結売上高



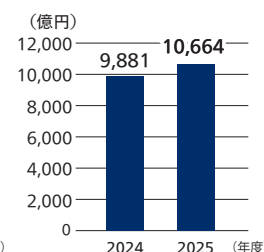
連結営業利益



親会社株主に帰属する
当期純利益



連結総資産



配当金

2025年度
(1株あたり)

中間 0円

期末 **210円**

2026年度予想
(1株あたり)

中間 **110円**

期末 **110円**

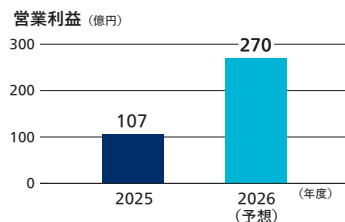
2026年度の営業利益予想および主な取組み

光ソリューション

▶ データセンタ向け製品の開発・製造・拡販

ローラブルリボンケーブル・ソリューション

MTフェルール



6912心細径超多心
光ファイバケーブル(外径29mm)

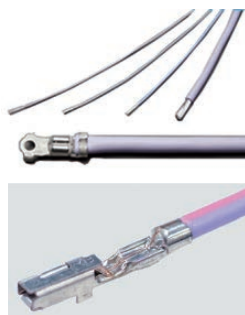
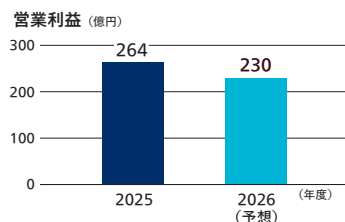


MTフェルール

自動車電装システム

- ▶ 北米関税スキーム (USMCA) 見直しへの対応
- ▶ 組立の自動化
- ▶ 電動車市場に向けた製品開発

アルミワイヤハーネス・高電圧対応品



アルミワイヤハーネス／α端子

情報コンポーネント

- ▶ データセンタ市場向け高付加価値製品の増産・拡販
 - ・水冷モジュールの量産開始
 - ・銅箔の製品ミックス転換 (高周波基板用銅箔)
 - ・光半導体関連製品の増産

半導体
製造用テープ

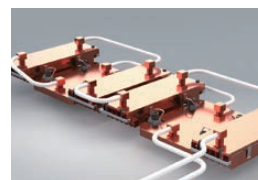
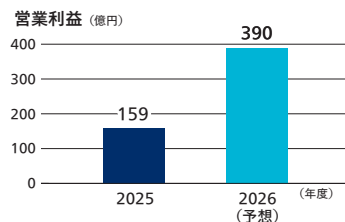
高機能放熱・
冷却製品

高周波基板用
銅箔

高機能
フォーム製品

HDD用薄型
アルミブランク材

光半導体関連製品



コールドプレート (水冷式冷却製品)

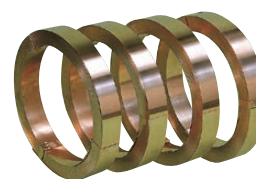
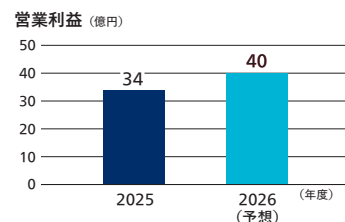
メタルソリューション

- ▶ 高付加価値製品の拡販による製品ミックス改善

無酸素銅製品群 (パワー半導体・放熱部品用)

リボン線・角線
(高機能インダクタ・メモリ用)

高機能抵抗材
(スマートフォン・xEV用)



伸銅品

エネルギーインフラ

- ▶ ケーブル製造および工事施工能力の増強

国内超高压・海底線

再エネ関連

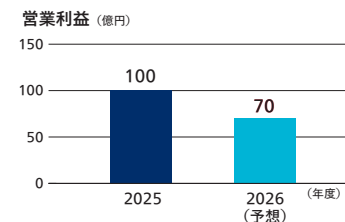
HVDC*

- ▶ マーケティング活動の推進による拡販

らくらくアルミケーブル®

機能線

送配電部品



海底電力ケーブル

* HVDC (High Voltage Direct Current): 高電圧直流送電

TOPICS

**世界最高クラス 13824心の超多心
光ファイバケーブルを量産開始**

当社は、三重事業所内に従来製品比で2倍の伝送容量を有する13824心の超多心光ファイバケーブル製造に特化した第2工場を開設しました。この生産体制の拡充により、ハイパースケールデータセンタ向けの高密度・大容量ニーズに応え、グローバル市場への安定的な供給を強化します。



13824心超多心光ファイバケーブル
(外形40mm以下)



光ファイバケーブル第2工場外観

詳細につきましては、ウェブサイトに掲載しておりますので、ご覧ください。



特集 古河電工グループ 2030 経営方針

2026年5月19日に古河電工グループ ビジョン2030実現に向けた経営方針を公表しました。

古河電工グループ パーパス

「つづく」をつくり、世界を明るくする。

日々の当たり前の暮らしが、安心・快適につづくこと。

今日よりも豊かな明日へ、社会の進歩・発展がつづくこと。

人と地球の共生がいつまでも幸せにつづくこと。

経営上の重要課題

外部環境

- AIの急速な拡大・普及
- 脱炭素社会への移行
- インフレ、人手不足
- 地政学リスクの高まり

古河電工グループの特徴

- 社会課題解決に資する幅広い事業・製品群
- 4つのコア技術
- 特定市場に限定されない開発力・提案力
- グローバルに展開する生産拠点、従業員

社会課題解決による価値創造

情報をベースとした社会基盤の創出

社会課題解決に資する新しい事業への挑戦

価値創造を持続可能にする経営基盤確立

事業・製品ポートフォリオの最適化

労働生産性の向上

人的資本の最大化

ガバナンスの強化、リスク耐性の向上

古河電工グループ
ビジョン2030
実現

中長期的な企業価値向上

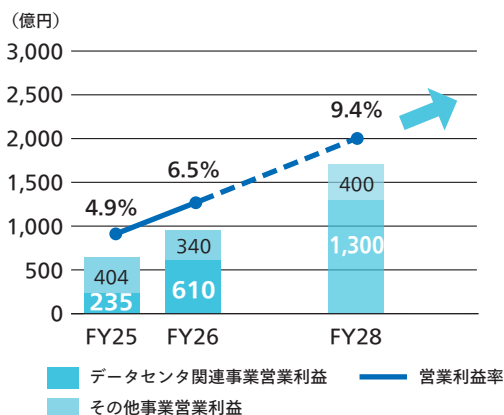
財務到達水準

	2030年度	(参考) 2025年度
営業利益	2,500億円	639億円
ROE	20%	19.1%
ROIC	15%	12.2%

投資額

	2026-2030年度
投資額	6,500億円
内、注力分野投資	5,000億円

営業利益・営業利益率見通し



- ・ 当社は、古河電工グループ パーパスのもと、ビジョン2030実現に向け、6つの「経営上の重要課題」に取り組みます。
- ・ 2030年度には、営業利益2,500億円、営業利益率10%超への到達を想定しています。
- ・ ビジョン2030の期間は、企業価値向上に向けた投資を進めたうえで、安定的な株主還元を行うことを基本方針とし、株主資本の3.5%を目途とした配当を行います。

情報をベースとした社会基盤の創出

光ファイバケーブルやサーマル、ファイテル製品などデータセンタ関連事業を成長させます。この分野の営業利益は2030年度に2,000億円への到達を想定しています。

社会課題解決に資する新しい事業への挑戦

ライフサイエンス、超電導、レーザ応用事業の収益化を推進するとともに、グリーンLPガス、ソーシャルDX、エアロペース事業の育成や将来の事業化の種となるテーマの発掘を進めます。

事業・製品ポートフォリオの最適化

労働生産性の向上

人的資本の最大化

ガバナンス強化、リスク耐性の向上

「事業・製品ポートフォリオの最適化」を追求し続けるとともに、DXやAIの活用による「労働生産性の向上」、注力分野での人材確保や従業員の貢献意欲向上をはかる「人的資本の最大化」に取り組みます。さらに、ガバナンス改革や執行体制の強化、重大リスクの顕在化を防ぐ仕組みの構築を通じて「ガバナンスの強化、リスク耐性の向上」を推進します。これらの取り組みを通じて、価値創造の基盤となる経営基盤を一層強化してまいります。

日本サッカーの躍進を支えた古河電工サッカー部レジェンドたちの軌跡



Jリーグ「ジェフユナイテッド市原・千葉」の前身である古河電工サッカー部は、1946年の創部以来、日本サッカー界に多くの優れた人材を送り出してきました。川淵三郎、小倉純二、清雲栄純、奥寺康彦、永井良和、田嶋幸三、岡田武史、加藤好男、江尻篤彦——。本シリーズは、古河電工サッカー部の軌跡や日本サッカー界の発展の歴史を、当事者であったレジェンド達のリアルなインタビューを通して紐解いた興味深い内容となっています。このたび、シリーズが完結しましたので、ぜひ特設サイトにてご一読ください。

<https://www.furukawaelectric.com/platform/legend/>



FURUKAWA
FOOTBALL
CLUB



エンブレム(左:古河電工サッカー部、右:ジェフ)

古河電工グループの脱炭素社会・自然共生社会への貢献の取組み

古河電工グループでは、事業活動における温室効果ガス排出量の削減に取り組むとともに、地域社会と連携しながら環境保全活動を推進しています。栃木県日光市にある自社水力発電所での見学を通じた小学生向けの環境学習支援や、足尾銅山跡地での植樹活動をはじめ、地域の緑化や環境再生への取り組みを継続しています。こうした活動を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



<https://sustainability.furukawaelectric.com/ja/themes/220/>



足尾銅山跡地での植樹活動

■古河電工オリジナルカレンダープレゼントの終了

古河電工オリジナルカレンダーのプレゼントは、環境負荷軽減の観点から、昨年末にお届けした2026年版をもって終了いたします。今後も環境に配慮した企業活動を通じて企業価値の向上に努めてまいります。

定時株主総会に関するご報告

2026年6月26日に開催の当社第204回定時株主総会の決議の結果ならびに本定時株主総会当日の動画および主な質疑応答録(要旨)を以下の当社ウェブサイトに掲載いたしますので、ご覧ください。

※本定時株主総会当日の動画は7月上旬、主な質疑応答録(要旨)は7月中旬の掲載を予定しております。

<https://www.furukawaelectric.com/ir/stock/meeting.html>



◆ 配当金のお支払いについて

第204期期末配当金は、1株につき210円と決定いたしました。配当金を「配当金領収証」によりお受け取りいただく方には、「配当金計算書」および「期末配当金領収証」を同封しておりますので、最寄りのゆうちょ銀行または郵便局にて、払渡(お支払)期間中にお受け取りくださいますようお願い申し上げます。

なお、第205期におきましては中間配当の再開を予定しております。

■払渡(お支払)期間: 2026年6月29日から2026年7月31日

※次回から口座振込みをご希望の場合は、お取引証券会社にお問い合わせください。

※確定申告の際の添付資料には、同封の配当金計算書をご利用いただけます。

◆ 株式分割について

2026年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき10株の株式分割を実施いたします。

◆ 株主メモ

●事業年度の末日: 毎年3月31日

●定時株主総会: 毎年6月

●公告方法: 電子公告 <https://www.furukawaelectric.com/>
※ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載

各種お問い合わせ先

	証券会社の口座を開設し 預託されている 株主様	特別口座にて 管理されている 株主様
・住所変更 ・単元未満株式の買取・買増 ・配当金受取方法の指定 ・マイナンバーのお届出 ・その他	お取引証券会社等	みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル: 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9時~17時)
・未払配当金の支払い(※) ・支払明細の発行 ・当社株式関係書類について	お取引証券会社または右記 みずほ信託銀行証券代行部 「電子提供制度専用ダイヤル」	みずほ信託銀行 証券代行部 電子提供制度専用ダイヤル: 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9時~17時)

※未払配当金の支払い手続きは、みずほ信託銀行の本店および全国各支店のほか、みずほ銀行の本店および全国各支店でもお取扱いしております。

みずほ信託銀行 証券代行部

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

決算・企業情報 古河電気工業(株) IR部
<https://www.furukawaelectric.com/ir/>

